

精神神経科 プログラム

【概要】

当センターは心臓病と脳卒中の両者を対象とした世界でも稀有な最先端の大規模医療・研究施設である。精神神経科では、循環器病を合併した精神疾患症例と同身体疾患に起因する精神疾患症例を主たる診療対象としている。現在の診療スタイルは、コンサルテーションリエゾンと、心臓移植医療や心不全緩和ケアの精神担当医師として多職種チーム医療の展開である。

これらの診療を通じて、循環器病に関連する精神疾患の評価および治療、そしてチーム医療のなかでの力動精神医学など、多彩な経験を積むことができる。

また、当院は2022年より日本総合病院精神医学会の認定する専門医研修施設となっており、日本精神神経学会認定精神科専門医の資格を有していれば、日本総合病院精神医学会専門医試験の受験資格を満たすことができる。

【研修対象および期間】

研修対象：卒後6年目以上

精神保健指定医/精神科専門医取得（見込み）者

研修期間：1-2年

【研修内容】

I. 臨床

<循環器病患者の精神科診療>

入院患者、特に循環器病患者について、各種指針に準じた治療だけでなく高度治療に従事し知識と実践に重点を置いた修練を行う。

<主な検査・治療技術>

入院患者における循環器病症例の精神医学的評価及び治療の基本的技術に加え、新しい知識とより高度な技術の習得

- 1.各循環器病患者における精神症状評価および治療に必要な精神療法や薬物療法等、診療技術の習得
- 2.重症心不全・心臓移植患者の治療選択における意思決定能力や精神状態等の評価及び意思決定支援に必要な診療技術の習得
- 3.集中治療領域患者や周術期患者における精神症状の評価及び治療に必要な診療技術の習得
- 4.緩和ケアチーム、リエゾンチーム活動における、身体科医師やパラメディカルと協働する

ために必要な身体疾患に関する医学的知識・コミュニケーション能力の深化

5. 職員のメンタルヘルスに関する理解

II. 臨床研究

希望に応じて、専門的知識をもって精神医学に関わる臨床研究に従事し、成果発信を積極的に行っていく(日本精神神経学会、日本総合病院精神医学会総会など)。

学会発表

- ①国内の学会(日本精神神経学会、日本総合病院精神医学会総会など)でのポスターあるいは口述での発表を目標とする。
- ②指導医の下、抄録、ポスターや口述演題スライドの作成を行う。

論文作成

英文・和文の論文作成を指導医の下で行い、海外誌への投稿を目指す。

III. 業務など

身体科からのコンサルテーションを通じて多彩な症例を経験し、リエゾン活動やチーム医療についても、上級医の指導のもと行う。また各種カンファレンスに参加する。当直オンコールはなし。

IV. 回診・カンファレンス等の週間スケジュール

毎日 リエゾンチームカンファレンス

週1回 リエゾンチーム回診

週1回 緩和ケアチームカンファレンス・回診

不定期 症例検討会、リサーチミーティング、英文雑誌抄読会、指導医による講義